

地球にecoとしよう!! Ecoライフ大作戦

053(ゼロごみ)ステージ2

えこまる

http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/ から eco ライフ大作戦へ

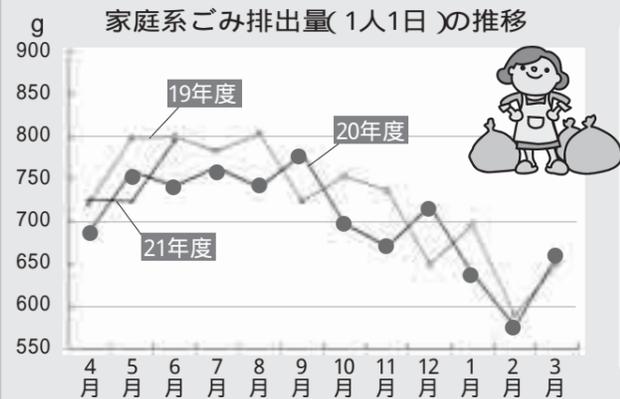
エコ意識の向上とエコ活動の実践のため、ecoライフ大作戦を実施中です。ライフスタイルを見直し、環境に気を配った行動へとつなげるため、「地球環境」、「資源環境」、「自然環境」、「環境教育」の4つを柱に、まちぐるみで展開します

「資源環境」についてのお知らせ

詳細 清掃事業課 ☎55-4077

1人1日あたりの家庭系ごみ排出量の推移

ecoライフ大作戦では、家庭系ごみの量を1人1日10gの削減(前年度比)を目標に実施しています。今回は、平成19年度の053(ゼロごみ)大作戦からの1人1日のごみ排出量の状況をお知らせします。



平成19年度の家庭系ごみの1人1日の平均排出量は727g、平成20年度は704gであり、減少している傾向にあります。家庭系ごみの排出量は夏場に増加する傾向にあり、冬場には少ないという状況がグラフから分かります。

この時期は、飲料水の容器などのごみが増加しますが、ごみの減量のため、買い物の時には包装の少ないものや詰め替え商品を選ぶ、料理などでは食材を無駄なく使う、新聞を古紙回収に出すなど、ごみの減量に努めましょう。

8月の目標値は730gです

(単位: g/人・日)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4~6月	年度
19年度	720	797	799	782	803	723	753	736	649	695	590	651	772	727
20年度	687	758	742	763	740	779	697	670	718	639	576	661	729	704
21年度	726	723	794	-	-	-	-	-	-	-	-	-	747	-

表の数値は家庭から排出された総ごみ量と人口と日数から求めたものです

「自然環境」についてのお知らせ

詳細 環境生活課 ☎32-6331

自然環境とecoライフ

水の循環は命をつなぐ道

水は地球上のすべての生命の維持に必要不可欠なものです。水には、太陽から降り注ぐ大きな光エネルギーを蒸発によりやわらかく受け止め、気温の急激な変化を抑える働きがあると同時に、蒸発した水は雲となり、雨となって大地に水分を与えてくれます。大地にしみこんだ水は、地下水や河川となり、湖沼などを経て、やがて海に戻るといった巨大な循環を二酸化炭素の発生もなく繰り返しています。

この循環の中で、水は植物をはぐくみ、地上の生き物の飲み水となり、水生動物の生活の場となるとともに、地上の豊かな栄養分を海に運び、海洋生物をはぐくむという重要な役割も担っており、「水の循環は命をつなぐ道」といえます。

このように大切な水の循環ですが、地球温暖化などによる気候変動や開発の影響を受けており、特にウトナイ湖のような水深が浅く湿原地帯のある湖沼などでは、すでに水位の低下や湿地の乾燥化などが見られています。自然と水の関わりを学ぶ行事などに参加し、自然環境保全の大切さを実感してみませんか。

ウトナイ湖漁業体験と湖岸清掃

自然環境を守ることの大切さを学ぶため、ウトナイ湖で地引き網漁体験と湖岸清掃、漁獲物の試食会を行います

とき 9月6日(日) 8時30分~13時30分 小雨決行

集合 ① 8時30分までに市役所1階市民ロビー(バスで移動) ② 9時までにウトナイ湖野生鳥獣保護センター

料金 無料
定員 ①②各40人 小学生以下は保護者同伴

持ちもの おにぎり、飲み物、長靴、着替え

申し込み・詳細

8月28日(金)までに電話で 環境生活課 ☎32-6331



ごみを減らし、自然環境に優しい暮らしをしましょう!!

CloseUp

クローズアップ

開館10周年!!

平成11年12月にオープンした科学センター「ミール展示館」が今年で10周年を迎えます。科学センターでは10周年記念事業を開催し、「ミール」を市内外により一層のアピールをしていきます。

宇宙ステーションミール

ミールとは、昭和61年2月に旧ソ連(現ロシア)が打ち上げた世界初の長期滞在型の宇宙ステーションで、巨大な宇宙構築物の中心となる機のことです。ミールでは、無重力環境でのさまざまな実験を行い、多くの成功を収めました。当初、設計寿命5年間のところを、15年間の長きにわたる運用により老朽化し、平成13年3月にニユージランド東方の南太平洋に落下し、その使命を終えました。

科学センター展示のミールは、宇宙に実際に打ち上げられたミールの同型の予備機です。このミールは平成10年に市制50周年を記念し、苫小牧の将来を担う子どもたちのために、地元企業より寄贈されたもので、宇宙のミールがなくなった現在では大変貴重なものです。

ミール展示館のあゆみ

宇宙開発の歴史の中で多くの成果を残したミール。このミールをより多くの方に知ってもらうため、ミールを活用した事業や、宇宙飛行士による宇宙教室、出前講座などを開催しています。また、昨年は、洞爺湖サミットの開催にあわせ、こども宇宙サミットも開催し、ミールが世界に知られることになりました。近年では、道内外からの観光客も多くなり、平成20年度の来館者は約7万人で、関心が高まっている状況です。

科学教育の充実に向けて

科学センターでは、科学する心を育成し、教育文化の向上・発展を図るための活動を今後も継続していきます。さらに、宇宙ステーションミールを通して、科学や天文・宇宙の楽しさを知ってもらうための事業や、科学の学習機会の充実に向けた事業を推進していきます。

科学センターのミールは質量感や細部にわたり本物の迫力があります。この開館10周年事業を機会にぜひ足を運び、科学や宇宙に関心を持ってみませんか。



C NASA

ミール展示館 開館10周年!!

MIR Exhibition Hall

詳細 科学センター ☎33-9158

http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/ でミール 検索

10周年記念事業

- ミールと音楽のつどい
ミールの映像とスピーチ、男声合唱団「コール・ヴォイジャーズ」による合唱を行います
とき 8月29日(土) 15時~16時30分
ところ 科学センター ミール展示館
料金 無料
- ミール特別展 写真パネル展
ミール展示館10年の記録、ミールの歴史と写真を展示します
とき 10月1日(木)~12月18日(金)
ところ 科学センター
料金 無料
- 記念誌「ミール展示館10年のあゆみ」を発行
ミール展示館10年のあゆみなどを掲載した記念誌を作成します。
- 「ミール豆本」を発行
宇宙やミールのことが分かる小冊子を作成し、市内小中学校などに配布します。

宇宙ステーションミールは長さ13.13m、幅4.15m、重量20.4tの大きさと迫力満点です。ミールの隣には、実験モジュール「クバント」も展示してあります。



ミール展示館へ行こう!

展示館ではミール機内に入ることや触れることができ、ミールを実際に体感できます。

開館時間 9時30分~17時(月曜日は休館)

入館料 無料

ミール操縦区

ミール居住区

展示館外観

